

7 駐車場

(1) 駐車場

	整備基準	図面及び各項目の名称・番号等		判定	留意事項
				基準	
車椅子使用者用駐車施設の設置	1 以上設置		(全駐車台数) 台 (設置数) 台		
車椅子使用者用駐車施設の構造	出入口に近接した位置に設置				車椅子が円滑に通行できる経路で近接した位置に限ります。
	幅3.5m以上		(幅) m		
	奥行き6m以上		(奥行き) m		
	駐車場である旨及び車椅子使用者用である旨の表示		・ 立て札による表示 ・ 駐車スペースに塗装表示		
	水平な床（地）面				
	粗面又は滑りにくい床仕上材		(床仕上材)		
出入口から車椅子使用者用駐車施設までの駐車場内の通路	平たんな仕上げ				
	粗面又は滑りにくい床仕上材		(床仕上材)		
	排水溝に適切な溝蓋を設置		(排水溝の有無) ・有 ・無 (溝蓋の構造)		
	段の有無 (段がある場合には、(2)の表の駐車場内の通路に設ける段の欄で確認してください。)		(段の有無) ・有 ・無		
	幅員1.4m以上 (区間50m以内ごとに車椅子が転回できる部分(概ね150cm角以上)を設ける場合は、1.2m以上)		(最小幅員) m (転回スペースの内のり寸法) m (通路の最大延長) m (転回場所) 箇所		
	高低差がある場合には、傾斜路又は段差解消機を設置 (傾斜路がある場合には、(2)の表の駐車場内の通路に設ける傾斜路の欄で確認してください。)		(設置する設備の名称) ・ 傾斜路 ・ 段差解消機		

- (注意) 1 用語の説明
「段差解消機」については、注意事項（共通）を参照してください。
- 2 整備基準の説明
共同住宅等に設けられる駐車場には適用されません。